

天王通り周辺のまちづくりワークショップ かわらばん



No.3号

2018年度 WORKSHOP

第二回 WS、開催しました。

開催日時：1月21日（月）
14:00～16:00
会場：津島市文化会館 2階和室
テーマ：「天王通りのにぎわいのために出来ること」
参加者：15名

| | 時期 | 内容 |
|-----|-----------------|--|
| 第1回 | 平成30年 11月12日 | 「天王通りの現状とこれからのまちづくりについて」 整備プラン・アンケート結果等について、沿線住民の方も交えて意見交換。 |
| 第2回 | 平成31年 1月21日 | 「天王通りのにぎわいのために出来ること」 自分で出来ること、だれかと協力しないと難しいことなど役割分担を整理。 |
| 第3回 | 平成31年 2月18日 | 「天王通りの“道路”としてあるべき姿について」 ここまでの検討を踏まえて、道路整備の方向性を考える。 |

■色々な立場になって考えました！

冬本番。ずいぶん寒くなって外では冷たい風が吹いていましたが、この日のワークショップの会場は、そんなことをものともしない熱い話し合いがなされました。

前半は、前回のワークショップでご意見がありました「立場による天王通りの関わり方の違い」について検討しました。参加者は5種類のカード<①観光客②商売（経済活動）する人③戸建て住宅で生活する人④マンションで生活する人⑤その他一般の津島市民>を引いて、その立場の人になりきって意見を述べてもらいました。

他人の立場で考えるというのは、意見が出しにくいと懸念する事務局の心配をよそに、活発な議論が進みました。前回とは違った角度からの分析を、真面目に楽しく行えました。



■にぎわいのために出来ること？

後半は、にぎわいある天王通りの実現に向けて、それぞれができることについて考えました。前半に異なる立場の視点で考えてアタマが柔らかくなった参加者のみなさんから沢山の有意義な意見がもらえました。このとき行政の立場で出来ることとして、市より将来の道路整備について提案しました。出席者からは「さらにこうしたらもっとよくなる。」「こういうことなら出来そうだよ。」とハードとソフト両面の提案がなされて、参加者全員で議論を積み上げた今回のワークショップでした。

グループディスカッション～前半「違う立場の視点から天王通りの賑わいの理想の姿を考えよう。」

<Bグループ>

①観光する人

- ・食事ができる店がもっとあるとよい。
- ・子どもが遊べる施設があるとよい。
- ・案内がわかりやすい町に。
- ・駐車場があればよい。

②商売（経済活動）する人

- ・憧れの天王通りであるべき。
- ・店が成り立つ通りであってほしい。
- ・人通りが欲しい。
- ・後継ぎが欲しい。
- ・でも継げる環境がない。

③生活する人（戸建て）

- ・日陰が多い通りじゃなくて、陽の当たる通りになってほしい。

④生活する人（マンション・アパート）

- ・ほどほどの付き合いがよい。

③④生活する人（戸建て/マンションアパート共通）

- ・地元の交流がなくなってしまった。
- ・近くに日用品・生鮮品の店がない。年をとったらどうしよう。
- ・買い物に困っている高齢者が実際にいる。
- ・近くに子供が遊べる遊具のある公園がない。

⑤一般津島市民（近くには住んでいない）

- ・昔のように活気のある通りにしたい。
- ・初詣などせっかく訪れても神社以外に立ち寄る場所がない。
- ・境内の屋台も少なく、マンネリ化して魅力がない。
- ・フリーマーケットなどいろいろな店がほしい。
- ・孫と一緒に子連れで行くところがほしい。

（その他意見）

- ・観音寺の御朱印帳は今も人気 賑わいに生かせないだろうか。
- ・おちょぼ稲荷の参道や大須商店街を参考にしてほしい。
- ・イベント会社で盛り上げ、安い賃料で若い店主を呼んではどうか。
- しかし津島は…貸してくれる店が少ない。
- ・建物が古くて貸せない。住んでいるから貸せない。

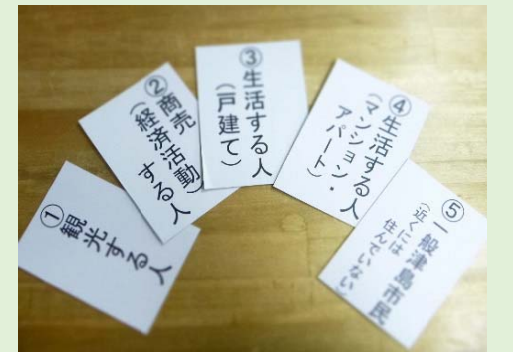


①観光する人

- ・お店の案内板があるとよい。
- ・無料休憩所があるとよい。
- ・おかげ横丁や道の駅みたいになるとよい。
- ・食べ歩きがしたい。
- ・お土産が少ないので、個々に提案されているものを持ち寄って、一つの店にまとめるとよい。
- マルヤスを使わせてもらえるとよい。
- ・大治太鼓が有名になったお寺でやるとよい。
- ・長島温泉から朝一番で津島神社に参拝しているが、神社以外の街並みや駅の周りは全く訪れてない。
- 津島は神社だけだと思い、次の場所へ移動してしまう。

②商売（経済活動する人）

- ・地元以外の人（外国人や名古屋から）を観光で呼べるとよい。
- ・賑わいやイベントが多くなるとよい。
- ・何の街としてアピールしていくのかを考えるべき。
- ・天王通りに店を構えているので、地元の方へ貢献したい。
- ・市の取り組みと連携した活動をすべき。
- 市からの補助金があれば、開業のきっかけとなるかも。
- ・様々な業種の店舗が建ち並び街であるべき。
- ・観光スポットを年齢層ごとにつくるとよい。
- ・店舗を安く借りることができるとよい。
- ・駐車場をつくるべき。
- ・人通りが多い通りで商売したい。



③生活する人（戸建て）

- ・駅までのアクセスがよいので、現状で不満はない。
- ・子どもの時からの住居で便利だと思っているが、シャッターの閉まった店舗が増えてきたことが気になる。
- ・駐車場が目立ち、夜間の防犯上の心配がある。
- ・新店舗が出店すると珍しさがありよい。歓迎したい。



<前頁からの続き>
③生活する人(戸建て)

- ・空き家が増えると子どもの通学や治安が心配である。
- ・商売をしている友人も近郊へ移転して寂しい。
- ・現状の交通量なら、生活に支障がない。整備することによって、生活道路に車が進入してくることは困る。
- ・にぎわうことによって、外国人が増えるのはちょっと心配。
- ・ゴミが増えるなど、マイナス面は少ない。
- ・今の静かな環境がよい。

④生活する人(マンション・アパート)

- ・散歩をして楽しい道になってほしい。
- ・美しい道になってほしい。
- ・メイン通りとして差別化が必要。
- ・子育て中のお母さんがおしゃべりや情報交換できる場所が欲しい。
- ・子どもを遊ばせる公園がほしい。
- ・同僚を家に連れてきたときに、魅力のある通りであってほしい。「遊びに来いよ」と言いたい。
- ・お洒落をしてお洒落なお店に行きたい。
- ・スーパーがもう一つあるとよい。
- ・名古屋まで通勤するのに、駅までのバスがあるとよい。

⑤一般津島市民(近くには住んでいない)

- ・平日はビジネス、休日は観光で賑わうとよい。
- ・お洒落なお店と期待できる通りになってほしい。
- ・有名な芸能人が来てくれるとよい。

(その他意見)

- ・歩行者天国には、渋滞・苦情対策が大切である。
- ・人が増え市が豊かになると、福祉に予算が使える。
- ・利害が一致するところから取り組んでいくことが重要である。
- ・駐輪スペースをつくると、交通量が減らせる。
- ・治安のために見守り隊をつくるとよい。
- ・過去の栄光が忘れられない。

◆ワークショップ終了後の参加者アンケートまとめ

Q. 本日のワークショップの感想をお聞かせください。

仮の立場(商店主、個人住宅、マンション住民、観光客など)での自由発言が活発に出た点はとてもよかった。/市の取り組みとスケジュール感が整理できてよかった。津島神社のにぎわいを中心にした通りづくりとして考えたい。/楽しかったです。/楽しく意見交換が出来て良かった。駐輪場の提案があって良かったと思う。/初めてでしたが、良かったです。/参加者が少なかった。/皆様の意見が聞けて良かった。

Q. 今後の進め方について、その他のご意見やご質問があればご記入ください。

歩道や自転車中心に進めてもいいと思います。/進行係のリードが回を重ねるごとに上手に…と感じます。今後ともよろしくお願いします。/今回は進め方がよかった。/少人数でしたので話ができて(意見が出せて)満足でした。

グループディスカッション～後半「良好な景観や賑わいのある天王通りの実現に向けてできることを考えよう。」

<A グループまとめ>

●全体について

- ・車道を少し狭め、歩道を広げるべき。歩く人が中心の通りにした方がよい。
- ・歩道は段差をなくし、ベビーカーや車椅子も利用しやすくする。
- ・今年の初詣は車利用が減って、駅から歩く人が増えた気がする。(名鉄ワンデー切符のおかげ、駅前パーキング利用かも。)
- ・沿道店舗等の駐車場確保は課題だが、車が中心の通りではない。



●駅寄りゾーン

- ・賑わいがあって近代的な街並みがよい。
- ・高層の建物があっても構わない。
- ・津島の顔なので津島らしさがほしい。
- ・鳥居、藤棚、まきわら舟などのモチーフを活用してほしい。

●中央ゾーン

- ・お店が並んでほしい
- ・マンションがあってもいいけど、せめて1Fは店舗になってほしいね。
- ・参加者が駅から神社まで歩く途中に、休憩できる場所や見どころ(博物館など)があるとよい。



●神社寄りゾーン

- ・通り沿いは木造2階建ての町並みイメージである。
- ・休みの日にはホコ天にするなど、歩行者が中心の通りになるとよい。→特別な雰囲気を感じることができる。
- ・若い人には津島神社はパワースポットとして有名に。宝寿院など調べて参拜にくる。

<B グループまとめ>



●全体について

- ・段差がない歩道にすべきである。
- ・電柱がなくなれば、歩きやすく、車からの視界も広がる。
- ・交通量が少なくなれば、車道を狭め、歩道を広げてもよい。
- ・他の道路を整備して、通過交通をなくすようにしてほしい。
- ・道路管理を県から市にし、ニーズに合った使い勝手ができるようになってほしい。
- ・店舗はのれんを並べて、歩道に縁台を出せるとよい。

●駅寄りゾーン

- ・駅への送迎車がなくなれば、歩行者中心の道路にするとよい。
- ・駅を降りて、ここがメイン通りということが分かりにくい。一例え、道路の色を変える等、他の通りと違うところを示すとよい。
- ・駅前という立地の良さを住民がもっと意識した方がよい。
- ・歩道を広げても、駅からの人が歩かなければ意味がない。

●中央ゾーン

- ・急に高いマンションができてしまうことが問題かも。
- ・本町筋に合わせて高さ制限をすることは、住民の理解が必要である。
- ・津島周辺は自転車人口が多いので、駐輪できるように整備するとよい。
- ・駐輪場は空き地を利用して、簡易舗装すればよい。
- ・放置自転車対策などの管理は課題になるかも。

●神社寄りゾーン

- ・津島神社から盛り上げていくべき。
- ・津島神社の景観にあったゾーンにしていくとよい。
- ・景観としても、高層ビルが建つのはよくない。
- ・住んでいる方の環境を守らないと話に乗ってもらえない。
- ・神社前の石畳はいいね。
- ・アスファルト舗装は、カラー舗装などの仕上げに変えるとよい。